

## 報告

## 風力発電プロジェクト

## 市民風車をまわそう

1月26日(日)に、大学生協仙台会館大会議室にて、NPO 法人北海道グリーンファンド、NPO 法人グリーンエネルギー青森、MELON の共催で「広がり市民風車セミナー in 仙台」を開催しました。

飯田哲也さん(日本総合研究所主任研究員)による欧米における市民風車の事例紹介、長谷川公一さん(MELON 風力発電プロジェクトメンバー・東北大学大学院文学研究科教授)による「日本のエネルギー政策と市民風車運動」について講演。その後、コーディネーターに長谷川さん、パネラーとして飯田哲也さん、鈴木亨さん(北海道グリーンファンド事務局長)、三上亨さん(グリーンエネルギー青森事務局長)、MELON の木村修一理事長らによるパネルディスカッションを行い、63名の参加者が、市民風車について学びました。



## 報告

## ストップ温暖化センターみやぎ

## 宮城の森林資源を生かそう



2月1日(土)に、宮城県民会館会議室にて第2回バイオマスエネルギー情報交換会「どうする宮城の森林資源～エネルギーの観点から～」と題して、

(株)森のエネルギー研究所代表の大場龍夫さん、登米町森林組合の竹内信男さんの講演を中心としたシンポジウムを開催しました。参加者は53名でした。

講演後、2名の講師に、宮城県環境生活部環境政策課横山実さん、運営委員の伊藤卓雄さんをパネリストに加えて、同じく運営委員である三浦秀一さん(東北芸術工科大)の司会でパネルディスカッションを行ないました。宮城でバイオマスを進めるためには何が必要か、どう進めるべきかなど、4月の第1回よりもより具体的な議論がなされました。

## 報告

## ごみ減量プロジェクト

## 紙ごみ分別 学習しました

3月19日(水)午前10時から、フォレスト仙台5F会議室で、「紙ごみ」をテーマに「こまっていること、くふうしていることみんなで話してみませんか?お茶の間感覚でシンポジウム」を開催し、34名の参加がありました。

主婦、行政、業者とそれぞれの立場の4人のパネラーに自己紹介を兼ねて話題提供をしていただきました。身近な話題でもあり、会場からは活発な意見や多くの質問がありました。その中で、ステーション回収や紙類回収庫について、雑紙の出し方の質問がありました。



\*ステーション回収:ごみ集積所などを資源物の排出所とし、そこから資源回収業者が定期的に直接回収する方式

\*紙類回収庫: 随時紙類を持ち込める回収庫。区役所、市民センターなど市内14箇所に設置(2002.10現在)2003年1月22日に第1号としてみやぎ生活協同組合富沢店に設置されました

\*雑紙: 包装紙、お菓子の箱、紙袋、封筒などリサイクルできる紙類